

光市医師会報

No.468

(令和8年 新春号)



写真提供：光市

光市医師会

<https://bit.ly/3P3IZm1>

目 次

光市医師会報 No. 468 (令和8年 新春号)

1. 表紙	
2. 学術講演会	1
令和7年度第5回学術講演会	1
第21回 つながる輪ひかり研修会	1
3. 忘年会	2
4. 理事会報告	3
5. 月例会報告	19
6. 会員の異動	19
7. 入会会員	19
8. 休日診療所	22
9. これからの行事予定	22
10. 緑友会コンペ	23
11. 編集後記	24

令和7年度 第5回
光市医師会学術講演会

2025年11月25日(火)
18:50～20:00
光商工会館2階 大会議室

製品紹介 18:50～19:00
高血圧治療剤
「パルモディアXR錠0.2mg/0.4mg」
興和株式会社

特別講演 19:00～20:00
「リスク因子の管理
～中性脂肪代謝を再考する～」

座長 光市立光総合病院
副院長 循環器内科部長 中村 安真 先生

演者 山口大学大学院医学系研究科
器官病態内科学講座
教授 佐野 元昭 先生

第21回
つながる輪ひかり研修会

令和7年11月20日(木)
19:00～20:00
光市総合福祉センター
(あいぱーく光)

演 題：
地域包括ケアシステムへの
整形外科クリニックとしての役割を考える
講 師：
虹ヶ浜整形外科クリニック
院長 桑原 嘉一 先生
虹ヶ浜整形外科クリニック
理学療法士 市山 舜稀 先生
参加者数：49名



令和7年度 光市医師会 忘年会

恒例の忘年会を12月4日、30名にご参加いただき松原屋さんで開催しました。

井上会長の挨拶の後、兼清輝久先生に乾杯の音頭を取っていただき、和やかに始まりました。

会の中程で、ナイスケアまほろばの森浩先生、光内科消化器科の高橋智聡先生、光総合病院外科の明石智樹先生から入会のご挨拶を頂きました。また、傘寿のお祝いを横山宏先生、古希のお祝いを藤田敏明先生、平岡いづみ先生、佃邦夫先生、無漏田俊子先生、桑田憲幸先生の5人の方にお贈りしました。

宴のメは、光総合病院外科の明石智樹先生が綺麗にまとめて、御開きとなりました。皆さま、ご参加頂きありがとうございました（広田 修）。



理事会報告

令和7年度10月光市医師会定例理事会

日時 令和7年10月14日（火）午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、田村健司理事、秋吉宏規理事
北川博之理事、河内山敬二理事、谷川幸治理事、守友康則監事、
藤田敏明監事、前田一彦理事、

欠席 松島寛理事

議題：

I. 光市との合同協議

各担当課との協議を行った

II. 報告事項

1. がん検診受診率向上推進委員会 （9/18 秋吉理事）

1 光市のがん検診実施状況について

光市医師会において、市と契約している一次検診

胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がん、の個別検診。

集団検診は行っていない。子宮頸がん、乳がんについては、周南市、下松市、平生町、田布施町、上関町と契約している。

市からの依頼による光市医師会における二次検診(精密検査)は実施していない。

近年の(約5年前と比べて)受診者数の増減については、「増加している」との回答が多かった。また、実施医療機関の増減については「減少している」との回答が多かった。

検診の実施にあたっての課題については、「受診の希望が少ない」「希望者は一日数人程度なので受け入れはできている」「自己負担金があることで検診を受けない人がある」「診察時間終了間際の受診や食事をとって受診する」「胃内視鏡検診となってから受け入れ人数に限りが出ている」「人件費・設備の不足」「多人数の受診者の受け入れができない」といった意見があった。

受診者を増やすために工夫していることについては、「予約時間の調整」「かかりつけの患者には受診を勧めている」「電話予約をしている」「診察時に個別に説明している」「受診するよう声かけする」「パンフレットを渡している」「他症状で受診されている患者にも年に1回の子宮がん検診を促している」「待ち時間短縮のため来院時間を検査開始時間に合わせて設定している」といった意見があった。

受診勧奨の取組については、「癌が発見されること自体を怖がる方がいる。早期発見が治療につながることをもっと広報すべき」「検診の時期等、もっと周知徹底す

べき」といった意見があった。

その他、「会社組織に守られていない自営業者の方は自主的に癌検診を受けられる方も多い」「受診券が届いているのかが分かりにくい」「受診券の内容が高齢者には分かりにくいのではないか」「後期高齢者は受診券が届いていないと思込んでいる、郵送されていても紛失するなどしている」「インフルエンザ予防接種のように受診券なしで行える制度になれば受診数は増えると思う」といった意見があった。

2 各地域のがん検診実施状況について

受診者を増やすために工夫していることについて、郡市医師会としては、「年に一度、検診検討会議を市と実施している」「4～12月を検診実施期間とすることで幅広い受診機会を提供している」「ホームページにピンクリボンキャンペーンについて掲載している」「市や県から送られてきた受診勧奨チラシを医療機関に配布している」「行政と連携しながら対策を考えていく必要がある」「市民を対象に定期的に健康ミニ講座を開催し検診の重要性について啓発を行っている」「市と協力の上、市から送る個別受診勧奨を実施している。インターネットによる予約受付を行っている」「ポスターの掲示を行っている」等の回答があった。また、実施医療機関としての工夫としては、光市と同様であった。

今後行う受診勧奨の取組については、「行政からのがん検診勧奨チラシの配布等で受診数は若干増えているが満足できる数ではない」「医師会と行政が連携を強化したい」「ホームページ上での受診勧奨を検討している」「未受診の患者をピックアップし、より積極的に受診勧奨を行うためのシステム作り」等の回答があった。その他の意見として、「医療機器が高額であり買い替えに躊躇する」「内視鏡検査で苦しい思いをさせると、次にまた受けたいと思わなくなるため、施行医の工夫も必要」「通常診療も行う中で検診数を増やすのは現実的に難しい」「昨今の医療従事者不足の上、がん検診業務により通常診療検査が縮小することは避けたい」「市中にポスターを掲示してはどうか」「職場健診や人間ドックでもがん検診を利用できれば受診数の増加につながるのではないか」「受け入れ件数にも限界があり、市町で検診(健診)センターがあれば受診数が増加すると思う」等の回答があった。

3 令和7年度新規事業提案書 資料1

4 「令和7年度新規事業提案書」には、

5月に開催する「郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会」において、「がん検診受診率向上委員会(仮称)」の設置を提案し、郡市医師会から検(健)診実務に携わり、積極的に取り組んでいる会員(役員)を推薦していただくとありますが、当院では検診・健診を行っておらず、今後「郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会」に出席することは出来ません。今回も内容が理解できませんでした。相応しい先生を選任・推薦していただくようお願いします。

2. 郡市医師会介護保険担当理事・ケアマネ・訪問看護師との合同協議会

(9/25 河内山理事)

議題

1. 医療介護総合確保促進法に基づく山口県計画（介護分野）について
2. 山口県介護生産性向上総合相談センターの開設について
3. 県訪問看護ステーションの活動状況について
4. 県介護支援専門員協会の活動状況について
5. 令和6年度県医師会開催の研修会について
6. その他

1. 医療介護総合確保促進法に基づく山口県計画（介護分野）について 資料1.

①地域医療介護総合確保基金の概要

○地域における医療と介護の総合的な確保を推進するため、消費税増収分を財源として都道府県に造成（国2/3、県1/3）

②事業の概要（県予算ベース）

	金額（千円）
・介護施設等整備分（ハード事業）	1,011,784
・介護従事者確保分（ソフト事業）	148,360
合計	1,160,144

③令和7年度地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等整備）について 地域包括ケアシステム基盤整備事業

○介護施設等整備促進事業…7市町16施設に対して支援を行う予定

④令和7年度地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）について

- 地域包括ケアシステム推進強化事業
- 認知症施策総合推進事業
- 介護支援専門員養成事業
- 介護生産性向上推進総合事業
- 介護人材確保総合対策事業
- 外国人介護留学生マッチング支援事業
- 福祉人材センター運営事業
- 社会福祉研修事業
- 地域共生社会推進事業

2. 山口県介護生産性向上総合相談センターの開設について

開設の経緯

- ・介護現場の生産性向上を推進することで介護人材の定着・確保を図るとともに、介護サービスの質の向上につなげる必要がある。
- ・県の新規事業として今年度事業化（令和7年7月7日開設）
- ・対象：介護サービス事業所 養護老人ホーム 軽費老人ホーム

- ・利用料：無料
- ・事業概要 1) 相談対応 2) 各種セミナーの開催 3) 専門家による伴走支援 4) 介護テクノロジー機器の展示・試用貸出 5) 介護テクノロジー定着補助金申請に係る支援

3. 県訪問看護ステーションの活動状況について

山口県訪問看護協議会の県内の事業所は、前年度105、今年度は108と少しずつ増えている。県内で約160訪問看護ステーションがあるが、6割強が加入している。

活動状況

- 教育：年間で看護協会と連携しながら各種研修を行っている。
 - ・訪問看護師育成研修
 - ・訪問看護従事者研修
 - ・訪問看護管理者研修
- 訪問看護総合支援センターと協力し訪問看護ステーションの運営、経営相談に乗っている。
- 訪問看護師の人材確保を山口県ナースセンターと協力して行っている。
- 訪問看護師の育成

4. 県介護支援専門員協会の活動状況について

- 状況；市町14地域が連携しながら県の協会を運営している。
有資格者1万人くらい、現任者3000-4000人くらい、会員数は1400人
- 課題：
 - ・高齢化している。
 - ・仕事がつい～シャドーワークの問題（介護専門員が本来やる以外の仕事をさせられている）
 - ・法廷研修を受けなければならぬという負担がある。
- 事業計画 資料4
 1. 組織力を高める活動（三役・組織総務部）
 2. ケアマネのスキルアップ支援（障害研修部）
 3. 情報伝達、広報機能の充実（広報事業部）
 4. 公益活動（公益事業部）
 5. 研究事業（調査研究部会）

5. 近県との連携、日本協会との連携（三役）

- 役員会の運営・開催
- 研修
 - 各種研修の実施
 - ・法廷研修
 - ・法廷外研修（主任更新受講要件研修）
 - ・自主研修

6. 令和6年度県医師会開催の研修会について

令和6年度に県医師会開催した介護分野の研修会一覧

①；認知症対応力向上研修会

適切な認知症診断の知識・技術を習得するための研修。認知症発症初期から状況に応じて医療と介護が一体となり支援体制を図ることを目的として開催。

年2回開催

②；日本医師会かかりつけ医機能研修制度応用研修会

「日医かかりつけ医機能研修制度」における応用研修に規定した中央研修。

受講することにより日医かかりつけ医機能研修制度における応用研修単位を取得することが出来る。年3回開催

③；地域包括診療加算・地域包括診療科に係る かかりつけ医研修会

地域包括診療加算及び地域包括診療料の施設基準にある「慢性疾患の指導に係る適切な研修」の一部にあたる研修会。年2回開催

④；主治医研修会

介護保険への入り口となる主治医意見書を充実させるための研修会

⑤；認知症サポート医フォローアップ研修会

地域における認知症の人への支援体制の充実・強化及び認知症サポート医等の連携強化を図る研修会。

7. その他

以上を報告した。

Ⅲ. 協議・承認事項

1. 忘年会の日程について

12/4日19時から前回と同じ場所で開催について承認

2. 2025ふれあい・健康フェスティバル出店について

井上会長が出席することについて承認

3. 包括ケア推進事業について

桑原医師を講師にて11/20に開催予定

4. 休日診療所に医薬品について

眼科から外用剤の採用依頼あり承認された

5. 10月学術講演会について

講師の諸事情にて中止となった

6. 事務局のパソコン購入について

新しい機種の交換は事後承諾された

7. 入会会員、異動会員について

ひかり医院医師のA会員入会また前院長のC会員変更を承認

以上を協議・承認した

令和7年度11月光市医師会定例理事会

日時 令和7年11月11日（火）午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、田村健司理事、秋吉宏規理事
北川博之理事、河内山敬二理事、谷川幸治理事、守友康則監事、
藤田敏明監事、前田一彦理事、

欠席 松島寛理事

議題：

I. 報告事項

1. 下松地域産業保健センター運営協議会 (10/7 田村理事)

- 議題 1. 令和6年度事業報告及び補助金執行状況について
2. 令和7年度事業計画及び補助金執行計画について
3. その他

1と2について、令和6年及び令和7年の事業内容としての健康相談、健康診断意見聴取、面接指導の計画に対して、特に質問なく全員一致で了承された。

3については、コーディネーターより意見聴取の様式変更が発議された。今回は、様式の変更を考慮しながらも、書式変更は次回への検討課題とされた。また、産業医の意見聴取表の要受診と記載されながらも、その後も受診していない人への嘱託産業医の対応について、労働基準監督署からは、事業所と本人の責任であるとの意見がなされた。

追加

#1, 労働基準監督署から、

- ①10月16日から山口県の最低賃金変更が報道を通して周知徹底がなされるとのこと。64円上昇され1,043円となる。
- ②健診の有所見者の約10%が意見聴取の実施がなされていないとのことである。
- ③第76回全国労働衛生週間のテーマは、ワークライフバランスである。

#2, 産業保健センターから

- ①令和7年研修セミナーの案内と運動指導無料出張サービスについての報告
- ②各主要病院内に治療と仕事の両立支援相談窓口の開設について報告
- ③令和8年1月1日から3年以内に、50人未満の企業においてもメンタルヘルス対策の推進が義務化されるとのことである。

2. 郡市医師会会長会議

(10/16 井上会長)

提出議題1 5月20日 都道府県医師会会長会議

「地域医療構想」

Dグループ（北海道、千葉県、石川県、静岡県、大阪府、鳥取県、長崎県）

北海道：人口10万人対医師数が全国平均を下回り二次医療圏における極端な格差がある厚労省が示した「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」の実効性に疑問を呈した。

石川：震災後の地域医療の状況を説明するとともに4つの公立病院の救急・入院機能を集約させた新病院の建設計画や一般外来をサテライト化する方向性を明らかにした。

静岡：持続可能な在宅医療提供体制の確保に懸念を示した。

大阪：医療機能の分化と連携、医療機関の役割について再定義を行う重要性を強調した。

鳥取：地域枠定員数の見直しと病院の経営安定化への仕組みの導入を国に対しても求めるように要望した。

長崎：「あじさいネット」の存続が存続の危機にあるとして地域医療介護総合確保資金の活用を求めた。

「日本医師会から中央情勢報告」

「令和7年診療所の緊急経営調査」について

医療法人の経営状況の調査分析を基に比較したところ、病院・診療所ともに令和5年度は前年より経常利益率が低下しており、令和6年度の機械的推計においても経常利益率の最頻値がマイナスとなっていることを説明。令和8年度診療報酬改定に向けて中央に働きかけるための資料としていく。

「医療DXについて」

時急な推進に伴う問題に触れ、改めて日本医師会が考える医療DXの進め方を説明するとともに、電子カルテの義務化には反対の意向を示した。

提出議題2 中国四国医師会連合分科会報告

第1分科会 医療政策（新たな地域医療構想等）

中山間地域・へき地において医療機関を支える仕組みの創設や救急搬送の有料化についての提言があった。

第2分科会 地域医療・介護保険（地域包括ケア・在宅医療含む）

不採算地域でもサービスが享受できるような報酬改定を望むことなど提言があった。

第3分科会 勤務医

勤務医の入会・定着促進や医師の働き方改革新制度導入後の実態調査などについての提言があった。

第4分科会 学校保健・母子保健

脊柱側弯症の判定精度向上に向けた体制整備や学校医不足における学校健診について提言があった。

提出議題3 山口県医師会の今後の収支見通しと対応について

現在の事業をそのまま継続・職員の定年退職・補充を想定し積算した場合、会費・入会金の減少（年353万円減）、定期昇給による人件費の上昇（年100万円）により、単年度収支は更に悪化が見込まれる（R6年607万円赤字→R10年2.358万円赤字）。

*現預金、財政調整積立資金残高は14億円あるが、今後県医師会建て替えのための資金需要が予想されるため収支の改善が必要

提出議題4 令和8年度の県の施策・予算措置に対する要望について

新規1 医療・介護の現場を守るための予算措置について

著しく逼迫している経営状況に対応するためには、次期診療報酬改定の実施を待つことはできず、早急な財政支援が必要であり、補正予算、来年度当初予算において医療機関等が

物価・賃金上昇への対応が図られるよう、予算措置を行うこと。

新規2 新生児聴覚スクリーニング検査のためのAABR購入費用の助成について

検査機器として使用されているOAEは内耳機能しか測定できない欠点があり新生児聴覚スクリーニング検査では推奨されていない。精度の高い聴覚検査が受検できる環境を整備する必要があるOAEからAABRへの切り替え、あるいはAABRの更新が促進されるよう購入費用の助成を要望する。

新規3 多職種連携によるやまぐち3070運動の推進について

多職種連携によるやまぐち3070運動の推進体制の促進、啓発グッズの作成、学校現場における子宮頸がんとHPVワクチンに関する情報提供、について要望する

提出議題5 診療報酬改定等に向けた取り組みについて

決起大会の開催について

国民医療を守るための総決起大会 11月20日（木） 14：00-15：00

県民の健康と医療を考える会決起大会 11月20日（木） 15：00-15：30

いずれも山口グランドホテルで開催。光市へ2名の派遣要望があった。

3. 山口県医師連盟第二回執行委員会 (10/16井上会長)

議題1 日本医師連盟執行委員会について（8月19日）

(1)日本医師連盟役員人事について 原案通り承認

(2)第27回参議院議員選挙について

医療・看護・社会保障関係候補のなかで釜沼候補がトップ当選した。しかしながら得票数は前回に比べ18%減であり、得票数が前回は上回った県は7県に留まった

（群馬、埼玉、徳島、山口、石川、島根、青森）。結果を真摯に受け止め次期参議院

選挙に向けて早急に常任執行委員会と開催し、戦力を検討していく。

(3)令和7年度日本医師連盟交付金について

連盟の財政状況・不安定な政局で選挙等による出費も予想されるので、昨年通り負担金の30%とする。

議題2 山口県知事選挙について

選挙日程について

令和8年1月22日（木） 県知事選挙告示 2月8日（日） 県知事選挙投開票

(1)知事選挙の動向について

①有近真知子県議会議員（42）

無所属で立候補することを表明している

②村岡嗣政県知事（52）

10月16日時点で立候補表明をしていない

③市民連合やまぐち

10月8日 知事選挙に候補者を擁立する方針を決定 11月中に正式に発表予定

(2)知事選挙への対応について

立候補者が揃った段階で、公約を比較し、12月初旬を目途に推薦候補者を決定する

4. 郡市特定健診・特定保健指導担当理事・関係者合同会議 (10/23 秋吉理事)

1 令和7年度実施状況(受診率向上に向けた取り組み)

① 特定健診

(被保険者) 生活習慣病予防健診実施機関の拡大
受診率が低い地域における集団健診の実施
事業者健診(労安法に基づく定期健診)データ取得の推進
経年的未受診者への文書による受診勧奨

(被扶養者) 市町との定期健診・がん検診共同実施の推進
協会けんぽ主催の集団健診の実施
受診履歴や対象者に応じた多様な受診勧奨

② 特定保健指導

スマホアプリを活用した特定保健指導の実施(令和7年度厚生労働省実証事業)
前年度保健指導対象者へ健診前通知の実施
保健指導(被保険者)の外部委託の拡大
健診当日の保健指導機関による初回面談の分割実施

2 光市市民課 令和7年度実施状況

① 特定健診

受診者にJCBカード1,000円を進呈(令和3年度から継続実施)
受診率が低い地域の会場で集団健診をオプション検査付きで実施

未受診者へ受診勧奨はがきを年3回送付予定
健診結果説明会を実施し、健診後のフォロー体制を構築

② 特定保健指導

特定保健指導未利用者に対して、文書、電話で利用勧奨
集団健診での初回面談実施
対象者のニーズに合わせて選択できる開催場所・内容

3 やまぐち健診(検診)受診総合促進事業

1 趣旨 保健医療提供体制の充実・強化のためには、健診(検診)受診による疾病の
予防・早期発見は大変重要である。そこで、これまで、各健診(検診)ごとに行われ
てきた受診促進のための取組を総合的に実施することで、更なる受診率向上を目
指す。

2 現状と課題 特定健診・がん検診・歯科健診の受診率は、近年徐々に上昇して
きているが、依然として全国最下位付近であり、更なる受診促進が必要。

4 令和8年度 後期高齢者の健康診査

- 1 健診項目から、「血清アルブミン」が除外された。
- 2 詳細な健診項目として、医師が必要と判断した場合には「心電図検査」を追加
できる。

5. 第2回地域医療支援病院審議委員会

(10/28 井上会長)

議事 (1)

実績報告

①紹介率・逆紹介率

上段：徳山中央 下段：徳山医師会

	R4	R5	R6	R6 4-9	R7 4-9
紹介率	64.9%	78.5%	82.6%	81.8%	83.9%
	89.7%	92.8%	92.5%	92.6%	93.2%
逆紹介率	112.9%	140.5%	138.9%	138.3%	132.3%
	80.2%	80.4%	67.3%	64.2%	70.3%

COVID19の5類指定後に紹介率が増えている。

②救急患者数

上3段：徳山中央 下2段：徳山医師会

	R4	R5	R6	R6 4-9	R7 4-9
救急車	5.629 人	5.625 人	5.827 人	2.915 人	2.975 人
へり搬入	9 件	10 件	16 件	8 件	8 件
へり搬送	8 件	9 件	11 件	6 件	8 件
救急車	277 人	290 人	297 人	135 人	109 人
その他	284 人	267 人	258 人	95 人	155 人

③地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修

上段：徳山中央 下段：徳山医師会

	R4	R5	R&	R& 4-9	R7 4-9
開催回数	7 回	14 回	15 回	8 回	8 回
	9 回	12 回	12 回	2 回	5 回
参加人数	277 人	578 人	691 人	358 人	405 人
	2.439 人	1.908 人	2.884 人	434 人	1.105 人

④医療機器の共同利用

	R4	R5	R6	R6 4-9	R7 4-9
CT	2.561 件	2.672 件	3.276 件	1.663 件	1.762 件
	2.980 件	3.111 件	2.587 件	1.665 件	1.152 件
MRI	1.338 件	1.478 件	1.604 件	824 件	915 件
	1.774 件	2.008 件	1.890 件	1.079 件	1.160 件
PET-CT	315 件	329 件	340 件	159 件	180 件
RI	384 件	367 件	355 件	194 件	167 件
	100 件	181 件	155 件	64 件	105 件
骨塩定量	56 件	108 件	118 件	63 件	96 件
	22 件	12 件	11 件	5 件	9 件

RI使用が減っている。詳細な解析はできていないがRIの適応が狭まっている可能性がある。

徳山医師会病院のRI検査は令和7年11月で終了する。

議事（2）

その他

徳山医師会病院より徳山中央病院へ、MRIの待ちが短いので読影なしの施設利用を歓迎すると発言あり。

以上を報告した

II. 協議・承認事項

1. がん検診受診率向上推進委員会の担当理事について (井上会長)
2. 光市医師会時期体制について (井上会長)
3. 1月理事会について (井上会長)
前回と同じ場所での開催の了解を得た

以上を協議・承認した

令和7年度12月光市医師会定例理事会

日時 令和7年12月9日（火）午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、田村健司理事、秋吉宏規理事
北川博之理事、河内山敬二理事、谷川幸治理事、守友康則監事、
藤田敏明監事、前田一彦理事、松島寛理事

議題：

I. 報告事項

1. 第2回光市自殺対策協議会 (11/6 井上会長)
 - 1) 第2次光市自殺対策計画の素案について
国の第4次自殺総合対策大綱（令和4年10月～）より県が第4次山口県自殺総合対策計画を策定（令和6年3月～）、を基に作成
令和8年度から新たにスタートする「第3次光市健康づくり推進計画」と整合性を持たせながら策定するもの
基本理念 つながる「わ」 いのち支える ひかりの絆
基本施策；
 - ①地域におけるネットワークの強化
 - ②自殺対策を支える人材の育成
 - ③市民への啓発と周知
 - ④生きることの促進要因への支援
 - ⑤児童生徒のSOSの出し方に関する教育重点施策：
次世代の人、働く人、高齢の人、各世代の生活困窮の人
 - 2) 計画策定の進め方
 - ①自殺対策協議会（素案） 11月6日実施

- ②12月議会委員会説明
- ③12月パブリックコメントの実施
- ④1月末庁内ワーキンググループ会議、自殺対策協議会（最終案）
- ⑤3月議会委員会最終案説明、計画策定

2. 郡市医師会学校保健担当理事協議会・学校医部会合同会議 (11/13 松島理事)
協議事項

1. 令和7年度中国地区学校保健・学校医大会について（報告）

日時：令和7年8月24日（日）、場所：山口グランドホテル

各県からの報告と特別講演「子どもの心身の発達に本当に必要な睡眠」「学校保健の現状と課題」が発表された。

詳細は山口県医師会報10月号に記載されています。

2. 令和7年度中四国医師会連合総会第4分科会について

脊柱側湾症検診、不登校の現状と課題、学校医不足などの議題

3. 三師会と県教育庁との懇談会について、令和7年9月12日（金）セントコア
山口

プレコンセプションケアの啓発、特別支援学校の福祉避難所の指定促進、がん教育の促進などの議題

4. 学校医研修会・学校医部会総会について、令和8年6月21日（日）山口県総合保健会館にて開催

詳細は来年発表

5. 学校産業医について

産業医資格のない医師が学校医として教職員の健康管理を担っている現状がある。

教職員においては、メンタルヘルスや長時間労働の問題など課題も多く、産業医資格を有した産業医が職務を行うことが望ましい。

6. 学校医活動記録手帳の活用について

提出状況 47% 光市医師会100%の提出あり

学校医活動記録手帳は一定の役割を終えたと判断され来年から配布はなし

必要な者がダウンロードして活用することとなる

7. 令和6年度学校検尿集計結果について

精密検査実施率（全県）小学校70% 中学校60%

（光市）小学校 50% 中学校 62.5%

3. 光市立病院経営強化プラン評価委員会 (11/13 井上会長)

主旨：

令和5年度に策定した「光市立病院経営強化プラン」における令和6年度事業について点検・評価を行うとともに、今後の病院事業の経営改善を一層推進していくことを目的とし「光市立病院経営強化プラン評価委員会」を設置することになった。

光市立病院経営強化プラン（令和6年度）の点検・評価について（資料）

- ①収支状況
- ②医療の質に係る数値目標および経営に関する数値目標
- ③目標達成に向けた具体的取り組み
- ④メンテナンスケア、レスパイト入院

4. 国民医療を守るための総決起大会 (11/13 田村理事・守友理事)
議事事項

1. 国民医療を守るための総決起大会
2. 山口県民の健康と医療を考える決起大会

議事1について

東京都医師会の協力のもと日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会などの43団体により国民の医療を守ること並びに国民皆保険を堅持するための決議を行った。日本医師会館と全国46道府医師会のサテライト会場をオンラインで繋ぎ実施された。総決起大会には与野党含め多くの現職の国会議員が来賓として出席された。主な主張は、昨今の物価高や人件費の上昇に診療報酬の改定が追い付いていないことに対し、診療報酬を10%上げる緊急的対策を要求することであった。

議事2について

引き続き中国四国地区代表として山口県医師会長が決意表明され、「頑張ろうコール」をおこなった。

5. ふれあい健康フェスティバル (11/23 井上会長)

口頭での報告。相談人数は3人であり、当日は別のスペースでも健康相談が開催されており、次回からの参加する意義は低いと考えられる。

6. 郡市医師会地域医療担当理事協議会 (11/27 秋吉理事)

1 新たな地域医療構想について

① 新たな地域医療構想とは

85歳以上の増加や人口減少がさらに進む2040年とその先を見据え、全ての地域・世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院し、日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できる医療提供体制を構築する。

② 国の検討状況について

構想区域については、①医療提供体制構築のため、②必要病床数運用のため、の大きく2つの役割がある。それぞれ、医療提供体制構築のため、急性期拠点機能等が確保・維持できる単位であるか、必要病床数の議論等が可能な単位であるか等について、区域の人口や医療機関数、患者の流出入等を踏まえ、適切な規模で設定する必要がある。

③ 今後のスケジュールについて

新たな地域医療構想について、令和7年度に国でガイドラインを検討・策定し、都道府県において、まず令和8年度に地域の医療提供体制全体の方向性、将来の病床数の必要量の推計等を検討・策定した上で、それを踏まえ、令和9～10年度に医療機関機能に着目した地域の医療機関の機能分化・連携の協議等を行うこととする。

2 医師偏在対策について

① 診療所の承継・開業支援事業について

今後も一定の定住人口が見込まれるものの、必要な医師を確保できず、人口減少よりも医療機関の減少のスピードの方が早い地域などを「重点医師偏在対策支援区域」と設定した上で、支援区域において診療所を承継または開業する場合に、当該診療所に対して、①施設整備、②設備整備、③一定期間の地域への定着支援、を行うことにより、地域の医療提供体制を確保することとし、令和7年度より緊急的に先行して実施する。

② 医師偏在対策に係る国の検討状況について

● 皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科等、専門性のある医師が少ない地域が多い傾向がある一方で、一定の医療ニーズが存在しうる領域について、学会や自治体等の事例や、へき地保健医療対策なども参考に、遠隔医療の効果的・効率的な活用等による対応を含めて検討してはどうか。

● 遠隔医療の活用に当たっては、地域のニーズや地域医療への影響を踏まえた対応を行う必要もあることから、都道府県が中心となり、地域の関係者(大学、医師会等)が関与して、地域で必要な体制の整備を図ることが適当ではないか。

3 かかりつけ医機能報告制度について

① 概要について

医療機関(特定機能病院及び歯科医療機関は除く)は、毎年1月から3月の間に、かかりつけ医機能について都道府県知事に報告を行う。都道府県知事は報告内容を確認し、地域関係者との協議の場において、かかりつけ医機能を確保するための方策を検討する。

② 報告項目について(紙調査票サンプル) 資料参照

③ 県は「かかりつけ医機能報告」を報告しない、あるいは出来ない場合には、報告義務違反として何らかの罰則を課すのか。との質問があった。県の回答は、「県としては処分規定の発効はない」とのことであった。

7. 退会会員について

以上を報告した

II. 協議・承認事項

1. 令和8年度休日診療所当直について(案)
外科当直時の麻酔時の同意書のひな型作成について協議された
2. 入会会員、異動会員について
一人入会あり、また別のC会員からB会員異動される会員の報告あり
3. 新年理事会について
前回と同じ場所での1/20日開催の了承得た

以上を協議・承認した

月例会報告

令和7年11月25日(火)

1. 伝達事項

異動会員

10月1日付

A会員→C会員 上田 一博 先生

12月1日付

C会員→B会員 上田 一博 先生 (光内科消化器科)

入会会員

10月1日付

A会員 浅上 文雄 先生 (ひかり医院)

11月1日付

B会員 森 浩 先生 (ナイスケアまほろば)

退会会員

10月31日付

B会員 甲斐 雄一 先生 (ナイスケアまほろば)

新入会員紹介



ひかり医院
浅上 文雄 先生

この度、光医師会に新規入会させて頂き、ありがとうございました。
簡単に自己紹介させていただきます。

小生、宇部高校から三重大学に進み卒業後、山口大学附属病院第一内科（当時故竹本忠良教授）で消化器内科を学び、山口労災病院、下松記念病院、宇部興産中央病院に出向の後、平成元年に下松市で浅上内科胃腸科医院を開業させて頂きました。本年9月に閉院後、10月よりひかり医院勤務に至っております。

消化器内科以外では、予防医学に傾倒し、独自の人間ドック・超音波検診・内視鏡検診他、各種健診・検診に精進してきました。

微力ではありますが、今後は光医師会諸先生方のお力をお借りしながら良き仲間でもあるひかり医院スタッフとともに光市民の健康管理に邁進してゆく所存です。

何卒、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



ナイスケアまほろぼ
森 浩 先生

いろんなご縁とタイミングがありまして、2025年11月から睦会介護老人保険施設ナイスケアまほろぼの施設長に赴任し、同年12月に光市医師会に入会いたしました森浩（もりひろし）と申します。

1990年に愛媛大学を卒業し長崎大学形成外科教室に入局しました。下松市の周南記念病院開院時より25年間、形成外科医として携わってきました。形成外科での治療は外傷、先天性疾患、腫瘍の切除と再建が主体でしたが、褥瘡等の難治性皮膚潰瘍の対応にも追われておりました。光市医師会の先生方とは数多くの紹介状を通じてお付き合いをさせていただきました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

傷を治すことしかありませんが、諸先生方が関わる難治性の傷がありましたらお気軽にご連絡ください。転職はしましたが、今後も餅屋として働きたいと思っており、周南記念病院の非常勤医として形成外科も続けております。

学生時代は軟式テニスにどっぷりと浸かっておりました。卒業後も野外で活動するのが好きでした。ウインドサーフィン、パラグライダー、スキューバダイビング、オートバイ、バイク、山小屋遊び等、上手になる前に他に手を出す性分は良く言えば好奇心旺盛、悪く言えば熱しやすいが冷めやすいと自覚していました。

ひょんなことから11年前にフルマラソンとの出会いがありましたが、自分には意外なほどハマりました。レースの数ヶ月前から計画を立てコツコツと目標に向かってトレーニングを積んでいくのは、仕事や私生活のコントロールにも大変役に立ちました。レース当日はコースや天候を予想し、それに合わせた準備を整え、時にはびしょびしょに濡れ、痙攣で脚が閉じてしまうようなハプニングにも直感で対応して、ゴールの後には間違いなく濃密な時間を過ごした快感があることを体験しました。この前参加したばかりなのに翌週には既に走りたくなる中毒性のおかげで、還暦で自己ベスト更新した時の人生最速感忘れられません。さすがにピークは超えたかなという気がしますが、これからもずっと続けていきたい所存です。

遊ぶように仕事をして、仕事をするように遊ぶを続けていきたい人間です。
どうぞよろしくお願ひします。

10月休日診療所当番医報告

10月		内科系	外科系	
	5(日)	7	8	15
	12(日)	11	9	20
	13(月)	16	4	20
	19(日)	8	4	12
	26(日)	4	2	6
	計	46	27	73

11月休日診療所当番医報告

11月		内科系	外科系	
	2(日)	15	6	21
	3(月)	17	5	22
	9(日)	16	5	21
	16(日)	37	6	43
	23(日)	60	6	66
	24(月)	56	5	61
	30(日)	31	4	35
計	232	37	269	

12月休日診療所当番医報告

12月		内科系	外科系	
	7(日)	31	2	33
	14(日)	25	1	26
	21(日)	29	2	31
	28(日)	14	7	21
	31(水)	35	9	44
計	134	21	155	

☆ **これからの行事予定** ☆

1月	20日(火)	理事会	3月	10日(火)	理事会
	27日(火)	月例会		24日(火)	月例会
2月	10日(火)	理事会			
	24日(火)	月例会			

緑友会ゴルフコンペ成績

令和7年10月13日
周南カントリークラブ

順位	名前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	小田 達郎	48	55	103	24	79
準優勝	宮本 寿太郎	47	46	93	8	85
3	吉川 真	50	52	102	16	86
4	南 典文	53	53	106	19	87
5	兼清 光帆子	58	57	115	28	87
6	佃 浩一郎	46	55	101	14	87
7	赤崎 信正	51	46	97	7	90
8	森本 博士	45	49	94	4	90
9	光武 達夫	61	53	114	20	94
10	兼清 輝久	50	56	106	11	95
11	前田 昇一	59	56	115	14	101

NP ⑥森本 ⑬吉川 ⑰佃

DC ⑧赤崎 ⑮佃

ドラ短 前田 兼清(照)

令和7年12月21日
周南カントリークラブ

順位	名前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	吉川 真	55	43	98	16	82
準優勝	佃 浩一郎	45	52	97	14	83
3	兼清 照久	53	49	102	11	91
4	宮本 寿太郎	47	54	101	8	93
5	森本 博士	45	53	98	4	94
6	南 典文	55	58	113	19	94
7	小田 達郎	61	53	114	19	95
8	赤崎 信正	52	51	103	7	96
9	兼清 光帆子	62	66	128	28	100

NP ②⑥宮本 ⑬佃

DC ⑧佃 ⑮赤崎

ドラ短 吉川 兼清(照)

● あとがき ●

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、ニュースによると今月末頃に最強・最長の大寒波の襲来が報じられ、さらにはインフルエンザ感染者数の増加も伝えられております。どうか引き続き油断されることなく、体調管理には十分ご留意ください。

一方、世間では衆議院選挙の話題が賑わっておりますが、医療界においても、かかりつけ医機能報告制度の定期報告が開始されます。また、本年4月からは外来医師過多区域における実質的な新規開業規制が始まるなど、開業医を取り巻く環境は、今後さらに厳しさを増すことが予想されます。

本会報が、医師会と会員の先生方との情報交流の架け橋となるよう、引き続き広報活動に努めてまいります。

本年が皆様にとりまして実り多く、素晴らしい一年となりますことを祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

(K.T)

発行所 光市医師会
TEL (0833) 72-2234
発行日 令和8年2月20日
発行者 井上 祐介
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社